

諸君は「ビブリオバトル」を知っているかな？ 読んで面白いと思った一冊を数人のバトルー（挑戦者）が持ち寄り、本の魅力を紹介し合うゲームで「知的書評合戦」とも呼ばれる。これを新聞記事でやろう、というのが「シンブリオバトル」だ！



準備しよう！

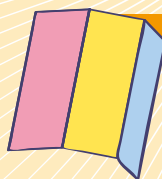


新聞

当日の新聞だけでなく、過去の新聞もたくさん用意しよう

バトルバイザー

ハチマキ状のかぶり物。
バトルーの色分けに使う



パンフレット（投票用）

このパンフレットは各ページの色がバトルーの色に対応していて、投票で使用するぞ

東京新聞

「東京新聞」は、プロ野球「中日ドラゴンズ」の親会社である中日新聞社が、東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木の1都6県と静岡県で発行する新聞です。130年余の歴史を持ち、首都圏で唯一の地元紙です。「真実がわかる」「読者とともに」「地域密着」をモットーに、首都圏で暮らす人のためのニュースや情報をわかりやすく伝えています。電子版もあり、世界中で読むことができます。



東京新聞を若い人にもっと読んでもらうにはどうすれば良いかを研究するため2014年に生まれた、東京新聞の社内有志による部局横断プロジェクトチーム。通称「次世研（じせけん）」。

編集局を中心に、電子メディア、広告、販売、事業、技術の各局から約70人が参加。「新聞に、未来はある。」を合言葉に、次世代の読者を増やすための方策を考え、実行に移しています。



公式ガイドブック



ルールを
説明しよう!

東京新聞

1

バトル
(挑戦者)を
4〜5人選ぶ

一度に対戦するのは4〜5人。
選ばれしバトルーは、色分けされた
バトルバイザーを装着しよう。
そして自分の色はしっかり
覚えておこう。
観客は全員が審査員になるので
心して待とう!

2

バトルーは新聞から
「誰かに伝えたいくなる」
記事をひとつ選ぶ

「ねえ、これ読んだ?」
「こんな記事、知ってる?」と、
思わず拡散したくなる記事を選ぼう!
心温まる話題や、多くの人が関心を
持つべき問題など、小さな扱いでも
興味深い記事はたくさんあるぞ!

東京新聞

みんなが
知らない
話題を探せ!

心に響く話術も
重要だ!

東京新聞

3

伝えたい理由を
情熱的に
プレゼンしよう!

持ち時間は4分

短い持ち時間の中で、みんなに興味をもって
もらえるよう熱く語れ!

質疑応答2分

1人のプレゼンが終了することに
質疑応答だ。しっかり審査するた
めに審査員も熱く質問しよう!

4

「いちばん
伝えたい」を
基準に投票しよう

全員のプレゼンが終わったら、
審査員はこのパンフレットを使って
投票だ。自分が気に入ったバトルーと
同じ色のページを司会者に向
けて掲げよう。
最多票を集めたものが
チャンプ記事だ!

東京新聞

勝利を
つかめ!

心に響かせる! 熱く語れ!!